



公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (楽団創立1956年6月)

- 創立指揮者 / 渡邊暁雄
- 桂冠名誉指揮者 / 小林研一郎
- 名誉指揮者 / ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者 / ジェームズ・ロッホラン
- 客員首席指揮者 / ネーメ・ヤルヴィ
- 首席指揮者 / ピエタリ・インキネン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問 / アレクサンドル・ラザレフ
- 正指揮者 / 山田和樹

ソロ・コンサートマスター 木野雅之 扇谷泰朋	ヴァイオリン 小侯由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤雅奈 ディヴィッド・メイソン	オーボエ 佐竹真登 ◎杉原由希子 ◎松岡裕雅	バス・トロンボーン 中根幹太	理事長(代表理事) 平井俊邦	監事 上條貞夫	団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 浅井俊雄 浅見浩司 新井豊治 石井啓一郎 江藤 隼子 遠藤 功 大石 修 大川内 弘 大味 修 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 菊田秋一 吉川利幸 小林俊夫 小山 清 斎藤千種 佐藤玲子 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 立川和男 高井康三郎 堂阪俊子 富樫尚代 豊田尚生 中川二朗 永田健一 中務彦彦 奈切敏郎 畑井紀代子 平賀法子 松本克己 松本伸二 三谷昭平 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 山本辰夫 渡辺哲雄												
コンサートマスター 田野倉雅秋	クラリネット ◎伊藤寛隆 楠木 慶 照沼夢輝 堂面宏起	フアゴット 大内秀介 木村正伸	ティンパニ ◎エリック・バケラ	副理事長(代表理事) 五味康昌	名譽顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔	常務理事(代表理事) 後藤朋俊	アドバイザリー・ボード 大島 剛 小野敏夫 小網忠明 後藤 茂 武田隆男 田邊 稔 松本冠也 溝口文雄	常務理事(代表理事) 中根幹太	理事 石井啓一郎 遠藤 滋 島田敏生 田村浩章 徳田俊一 戸所邦弘 福本ともみ	コミュニケーション・ディレクター マイケル・スペンサー	マネジメント・スタッフ 磯部一史 井原由紀 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 賀澤美和 柏熊由紀子 川口和宏 佐々木文雄 佐藤孝雄 澤田智夫 杉山綾子 高橋勇人 田中正彦 槌谷祐子 中村沙緒里 長谷川珠子 馬場桃子 兵 優子 藤田千明 別府一樹 益満行裕 山岸淳子 吉岡浩子	評議員会会長 加藤丈夫	評議員 青井 浩 荒蔭康一郎 石塚邦雄 石村 等 内川清雄 海堀周造 梶浦卓一 河北博文 喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 佐々木経世 島田精一 高橋和夫 津田義久 野間省伸 堀越作治 山口多賀幸	チーフステージマネージャー 阿部紋子	チーフインスペクター 宇田紀夫	インスペクター 佐藤駿一郎 鈴木優介 横山 桂	ライブラリアン 鬼頭さやか	◎首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間
第1ヴァイオリン 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 榊 渚 佐々木裕司 佐藤駿一郎 田村昭博 中谷郁子 西村優子 平井幸子 本田純一 町田 匡	ソロ・チェロ 菊地知也	ホルン 伊藤恒男 宇田紀夫 信末碩才 原川翔太郎 ☆丸山 勉 村中美菜	チーフインスペクター 宇田紀夫	ソロ・トランペット ワッセル・ノグスト・フオ	マニピュレーター 中根幹太	ソロ・トロンボーン 鬼頭さやか	第2ヴァイオリン 遠藤直子 大貫聖子 岡田紗弓 加藤祐一 ◎神尾あずさ 川口 貴 末廣紗弓 ◎竹内 弦 竹歳夏鈴 豊田早織 山田千秋	コントラバス 菅原 光 鈴木優介 ◎高山智仁 田沢 烈 成澤美紀 宮坂典幸 山口雅之	トランペット 中里州宏 中務朋子 橋本 洋 星野 究	フルート 遠藤剛史 難波 薫 ◎真鍋恵子	◎岸良開城	(2020年8月1日現在)						

編集発行 ■ 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 ■ 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 ■ Tel.03-5378-6311

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。  
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA  
—— 創立指揮者 渡邊暁雄 ——

ホーケストラとみんなであつなごう♪ スペシャル

1日だけの

# 日本フィル 夏休みコンサート2020

feat. 東北の夢プロジェクト



2020.8.23日 11時開演 / 14時30分開演  
東京国際フォーラム ホールC

当公演に休憩はございません。ご了承ください。  
14時30分の回は、ライブ配信を行います。

ホールの中だけでは大きな声で話したり歌ったりできません。来年をお楽しみに!

感染防止にご協力をお願いいたします

- スタッフはマスクやフェイスシールドを着用します。また、小声で対応させていただきます。
- 入場時の手指消毒、手洗いをお願いいたします。
- ホール内ではマスクを着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- 開演前はお席でお過ごしください。また時差退場へのご協力をお願いいたします。
- 出演者へのプレゼント(お手紙・お花などを含む)、面会、楽屋入り待ち、出待ち等のご遠慮ください。
- チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- 万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性があります。

主催：(公財)日本フィルハーモニー交響楽団  
後援：文化庁/復興庁  
協力：NPO 法人いわてアートサポートセンター/大船渡市民文化会館リアスホール  
[配信] 株式会社テレビマンユニオン  
[ライブビューイング]  
岩手県 宮古市民文化会館 (主催：NPO 法人いわてアートサポートセンター/共催：(公財)日本フィルハーモニー交響楽団)  
福島県 南相馬市民文化会館 ゆめはっと (主催：(公財)日本フィルハーモニー交響楽団/共催：(公財)南相馬市文化振興事業団)

日本フィルオリジナル 猫Tシャツ2020

色はスカイブルーとオリーブの2色です。

購入は公式HPから!▶▶▶

## 日本フィルからみなさんへ

本日は「1日だけの夏休みコンサート」にお越しいただきありがとうございます。  
 今年は、たくさんの方々がとても不便で、気持ちがあればとしない毎日をご過ごしておられると思います。

2011年3月、東日本をおそった大震災。大きな困難のなか、前を向いて音楽に取り組む地域の子どもたちを、日本フィルは応援して一緒に活動してきました。今日は、東北のお友だちの活動を映像でご紹介します。

音楽は、どんなときでもかならずそばにいて、心をはげましたりなぐさめたりしてくれる一生の友だちです。そして遠い町にはなれていても、音楽をとおして気持ちがつながり、感動をわかちあうことができます。

日本フィルは心をこめて、みなさんの心に希望の響きをお届けいたします。  
 どうぞリラックスして、オーケストラが奏でる豊かであたたかな音楽をお楽しみください。



## プログラム

ビゼー：  
 歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」

ビゼー：  
 歌劇《カルメン》より間奏曲

『東北からの映像コーナー』

外山雄三：  
 管弦楽のためのラプソディ

ベートーヴェン：  
 交響曲第5番《運命》より第1楽章

米津玄師（市原俊明編曲）：パプリカ

上柴はじめ：だれにだってお誕生日

\*休憩なし、約70分の公演です。

指揮：角田鋼亮

司会：江原陽子

映像ゲスト：

若手県立宮古高等学校吹奏楽部

大船渡市立大船渡北小学校郷土芸能部  
 (赤澤鑑剣舞)

南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部

コンサートマスター：千葉清加  
 [日本フィル・アシスタント・コンサートマスター]



- 演奏中はほかの人のめいわくにならないようにしましょう。
- 演奏の途中でホール内へ入ることはできません。
- ホールの中では食べたり飲んだりできません。
- 録音・録画をしたり写真を撮ることはできません。
- 携帯電話は演奏前に電源をお切りください。またアラーム付きの時計は設定をオフにしてください。

出演者、曲目等は事情により変更される場合がございます。  
 あらかじめご了承ください。

## 角田鋼亮 (指揮)

東京芸術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。  
 2006年第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクール第2位。ドラマ『新春スペシャル・のだめカンタービレ』においては千秋真一役の指揮指導を務めた。2016年、第11回名古屋ペンクラブ音楽賞を受賞。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、東京都響、東響、東京フィル、仙台フィル、名古屋フィル、大阪フィル、京都市響、日本センチュリー響、アンサンブル金沢等と共演している。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者のポジションを務めている。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓けている。  
 公式ホームページ：http://kosuketsunoda.com



© Hikaru Hoshi

## 江原陽子 (司会)

東京芸術大学声楽科卒業。4歳より(公財)ソルフェージュスクールにてピアノを始め、ソルフェージュ、作曲、室内楽等音楽の基礎を同校で学ぶ。声楽を西原匡紀氏、後藤寿子氏に学ぶ。大学在学中より4年間、NHK『うたって・ゴー』に「歌のおねえさん」としてレギュラー出演。1991年より日本フィルハーモニー交響楽団「夏休みコンサート」に歌と司会として出演する他、東京都交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等の音楽鑑賞教室やコンサートで司会を務める等、クラシックコンサートのナビゲーターとしても活躍している。どんな人にもどんな時にも音楽をとノーマライゼーションの社会をつくるための福祉コンサートにも力を入れ、「美しい日本語の歌」を残すためのコンサートを積極的に展開。また「歌で親子のふれあいの時を」をテーマに、読み聞かせコンサートをする他、合唱団の指導、(財)ヤマハ音楽振興会の教材歌唱や講師への歌唱指導等、後進の指導にもあたっている。  
 洗足学園音楽大学教授、(公財)ソルフェージュスクール講師。



## 日本フィルハーモニー交響楽団

“音楽を通して文化を発信する”日本フィルは、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行っています。  
 夏休みコンサートは、この「エデュケーション・プログラム」を代表する公演です。親子コンサートの草分けとして、1975年より多くのご家族に支えられながら今年で45周年を迎えました。他にも、年間150回を超える「オーケストラ・コンサート」に加え、子どもたちに身近なところで音楽の喜びを知ってもらいたいとの思いから、全国で室内楽演奏や学校公演を年間約70公演行っています。



きよくもくかいせつ  
曲目解説

■ビゼー: 歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」「間奏曲」

フランスの作曲家ビゼー(1833-1875)は、完成しなかった作品も含めて数多くの歌劇(オペラ)を作曲しましたが、中でも《カルメン》は、異国情緒豊かな傑作として、ビゼーの全作品中もっとも人気が高い作品です。

舞台はスペインのセヴィリア。まじめな兵隊のドン・ホセは、たばこ工場で働く美しく気ままな娘・カルメンに夢中です。カルメンと恋人同士になり、仕事も手につかなくなるホセ。しかし彼女は、しだいにスター闘牛士・エスカミーリョに心変わりしてしまいます。カルメンとホセの恋のゆくえは……?

本日のコンサートでは、一度は耳にしたことのある華やかなメロディーが印象的な「闘牛士の行進」と、しっとりとしたフルートとハープが美しい「間奏曲」をお楽しみください。

■外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ

外山雄三(1931~)は、日本が誇る指揮者としてだけでなく、交響曲や協奏曲、各地の民謡をもとにした作品など、作曲家としても多くの作品を作曲し、活躍しています。「管弦楽のためのラプソディ」は1960年に作曲され、その年の秋、NHK交響楽団による世界一周海外公演で初演されました。「手まり歌」「ソーラン節」「炭坑節」「八木節」といった日本民謡の素材が次々と登場し、和太鼓などさまざまな打楽器も活躍。終盤に向けて勢いよく盛り上がっていきます。

■ベートーヴェン: 交響曲第5番《運命》より第1楽章

今年で  
250年!

「♪ジャジャジャジャーーン」で始まる、クラシック音楽の中でもっとも有名な曲のひとつ、《運命》。作曲したのは、ドイツの作曲家ベートーヴェン(1770-1827)です。音楽の教科書などで、髪がもじゃもじゃで気むずかしそうな顔の肖像画を見たことがある人も多いのではないのでしょうか。

ベートーヴェンは20代なかばごろから耳が悪くなり、ついにはまったく聞こえなくなってしまうほどでした。彼はとても悩み、命を断とうと考えるほど苦しみました。音楽に対する情熱が、ベートーヴェンにふたたび生きる勇気をふるいおこさせたのです。

《運命》は、今苦しいことを抱えている人に対して、ベートーヴェンが「悩みや苦しみを乗り越えて、前に進もう」と時空を超えて語りかけてくる声が届いてくるような作品です。今も昔も変わらない人類共通のテーマが、この作品を、200年を超えた今でも不朽のものとしています。



♪パプリカ

みんな おぼえているかな?  
ダンスもかんぱき!  
きょうは オーケストラのえんそうと  
うたを ききながら  
こころのなかで いっしょにうたって  
おせきで おどってね♪

♪だれにだってお誕生日

きょうが おたんじょうびの  
おともだちは いるかな?  
みんなが なんがつ うまれか  
げんきに てをあげて おしえてね!  
オーケストラのひとたちは  
なんがつうまれか おおいかな??



Member's TVU CHANNEL  
CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com/>



8/23  
1日だけの  
『夏休み  
コンサート2020』  
11/22まで視聴可!

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。これまでテレビマンユニオンチャンネル(tvuch.com)では、クラシック音楽を気軽に楽しめるように、コンサート映像を10分前後に短く抜粋して無料でお届けしてきました。Member's TVU CHANNELでは、より本格的に、コンサート全体を有料で配信します。

アーカイブ配信中 ▶▶▶ 《運命》全曲の最新映像も視聴できます!

## 「被災地に音楽を」 「東北の夢プロジェクト」

～日本フィルの被災地支援活動と、  
東北地方での新たな文化発信と交流の場づくり～

2011年3月の東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の沿岸部に音楽で寄り添いたいという思いから、日本フィルはこれまでに294回に及ぶ音楽による支援活動「被災地に音楽を」を行ってきました。活動の初期は避難所や仮設住宅等の訪問が中心でしたが、ここ数年は「芸術に触れたい」、「外部に情報発信してほしい」、「地域内外でもっと交流したい」という現地の思いを受けて、日本フィルと地域の方々が共に作り上げるイベントを各地で企画し、音楽を通じて地域が元気になることを目指して活動を続けています。2019年にはこの活動を東北全体に広げ、さらには全国に発信したいという思いから「東北の夢プロジェクト」を開始しました。「子どもたちの夢と笑顔を応援する」をテーマに、東北地方の吹奏楽や伝統芸能に励む子どもたちの活躍を紹介し、地域や世代、ジャンルを超えた新たな文化発信と交流の場を作ることを目指しています。その皮切りとして2019年8月に盛岡で開催した「楽しいオーケストラ in 岩手」では宮古高校吹奏楽部（宮古市）と赤澤鎧剣舞（大船渡市）の子どもたちが堂々としたパフォーマンスを披露。オーケストラとバレエという本物の芸術と、吹奏楽や伝統芸能という地域や学校が育んできた素晴らしい各地の文化とそれぞれの聴衆が出会い交わる、温かな場が生まれました。

今年度、東北でのコンサート開催は難しい状況にあります。本日は「東北の夢プロジェクト」の一環として昨年のコンサートに出演した岩手県の宮古高校吹奏楽部（宮古市）、赤澤鎧剣舞（大船渡市）に加えて、福島県からは震災以降、楽器指導や演奏会での共演を通じて支援を続けている原町第一中学校吹奏楽部（南相馬市）を映像ゲストとして招き、さまざまな制約の中で前向きに活動に取り組む子どもたちの姿をご紹介します。そして宮古市と南相馬市の文化施設では本日のコンサートをリアルタイムで配信する「ライブビューイング」を実施。映像ゲストの子どもたちや東北のみなさんとも「音楽でつながって」います。音楽を通じた人と人との心の交流を通じて未来への希望が育っていくように、これからも日本フィルは取り組みを続けていきます。



©山口敦



©平舘平

## 映像ゲスト プロフィール

### 岩手県立宮古高等学校吹奏楽部

本州最東端に位置し、東日本大震災で甚大な津波被害を受けた宮古市。江戸時代には交易船が行き交い、東北地方でも有数の商港として栄えました。また、明治2年には戊辰戦争の雌雄を決したと言われる「宮古港海戦」が勃発した地でもあります。白色の岩によって形成された浄土ヶ浜などの景勝地が有名で、わかめや昆布、鮭といった海産物は全国でもトップクラスの漁獲量を誇ります。昔から音楽の盛んな宮古の中でも、宮古高校吹奏楽部は地域をリードする吹奏楽部で、1、2年生33名で活動しています。日本フィルとは2017年の訪問をきっかけに交流が続き、コロナ禍で訪問が中止となった本年6月には楽員とオンラインにて座談会を行い、離れていても心を通わせ合うことができました。

### 大船渡市立大船渡北小学校郷土芸能部 あかさわよろいけんばい 赤澤鎧剣舞

大船渡市は岩手県南部に位置し、自然が織りなす造形美であるリアス式海岸を誇ります。三陸沿岸は世界でも類を見ないほどの郷土芸能の宝庫とされ、神楽、鹿踊、剣舞など県内だけでも700を超える団体がその伝統を受け継いでいます。今回は、江戸時代から伝わり大船渡市無形民俗文化財第一号に指定されている赤澤鎧剣舞をご紹介します。源平合戦による平家の亡霊を鎮めたと伝えられる故事を舞踊化したもので、鎧剣舞の元祖として明治期から鎧を着用するようになりました。2013年に子どもたちからの希望を受け、大船渡北小郷土芸能部が発足。民俗芸能の歴史も伝え、稽古しています。2018年と19年にはゲストとして日本フィルと共演し、栄枯盛衰のはかなさを知らせる「扇子の踊り」を披露しました。

### 南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部

福島県相双地区で一千有余年の歴史を持つと言われる「相馬野馬追」。500騎余りの騎馬武者が馬を走らせ競い合う勇壮な祭りで、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。原町第一中学校は、この野馬追が行われる雲雀（ひばり）ヶ原祭場地の近くにあり。南相馬市は、日本フィルが本拠地を置く杉並区と災害時相互援助協定を結んでいる市でもあり、東日本大震災では津波被害に加え、福島第一原発の事故により二重の苦難を負いました。吹奏楽部も一時中断を余儀なくされましたが、震災の同年に開催された日本管楽合奏コンテストでは最優秀グランプリ賞に輝き、見事復活を果たしました。現在は1～3年生38名で「原一中サウンドを創ろう!」を部訓に活動しています。

映像制作/井田裕基



©山口敦



©山口敦



©山口敦



©平舘平

